

釧路営業所の目標 釧路営業所 所長 石川 生偉

目標は何ですか？

変化することを恐れないう
常に新しいことを学んでいこう

なぜそれを目指すのですか？

時代は刻々と変化しています。コロナ禍の世の中を誰が予測したでしょう。釧路営業所の持ち味は時代の「変化」についていける事だと自負しています。前が見えない世の中ですが変化していくことを恐れず、時代に乗り切る釧路営業所で行きたいと考えています。

鉄建釧路営業所は昭和56年1月に十勝鋼材釧路営業所として設立。令和3年で開設40周年です。我々は過去に開拓した釧路根室管内の「基盤」を使って営業しています。鉄建に名前が変わる前は「十勝」という名が釧路営業所の社員には少し重荷であったでしょう。ホームかアウェイかといえば後者です。現在はどうか。どこに行っても鉄建の名前は通じるし、どこにも恥ずかしくなく営業ができています。これは先人たちが通してくれた「道」があるからに他なりません。その「タスキ」を我々は預かっています。これを次の世代に繋いでいくのは我々の使命です。時代の流れで取扱商品は大きく変化していく中、「変化」を恐れず学びを忘れない姿勢を大切にしていきたいです。

釧路営業所の部員へメッセージをお願いします

みんないつもありがとう！少数精鋭だからこそチームワークは大事です。今後も釧路営業所らしさを大切に小さいけどきらりと光る営業所で行きましょう！

釣り同好会



1月30日に阿寒湖へ釣り同好会恒例のワカサギ釣りに行ってきました。事前の情報では釣果は悪くないようで、期待ができます。今回のワカサギ釣りはタイムアタックを企画しています。30分間で一番早く釣った人に景品が当たります。

タイムアタックが始まりすぐに魚の群れに当たったのが、いいペースで魚が釣れます。後半アワセがうまくできず釣果が伸び悩みましたが、14匹釣って3位と好成績を残せました。1位は26匹釣った社長でしたが、景品を2位の方に譲ったので19匹釣った脇坂さんが景品の1粒300円以上する高級いちごをゲット！釣りが終わった後に分けて頂きましたが香りが強くてとても美味しかったです。

来年はアワセを上手になり、ベテラン勢に勝てるようになりたいです。

釣り同好会会長 松本 真輔

新入社員 紹介!

帯広鋼材センター

名前 長谷 洋介 (はせ ようすけ)

生年月日 昭和 59.5.12

血液型 B型

特技 書道

趣味 川釣り

自分の性格を一言で!

マイペース

お酒は飲める?

少々。甘いものならなんでも

社員旅行で行きたいところは?

沖縄

これからの意気込みを

今は毎日色々な出来事に驚きの連続です。

なかなか先輩方のように先読みしながら仕事が進められず歯痒い毎日ですが、早く先輩方を越えられるように頑張っていきたいです。

自分が色々な職業を、身をもって体験してきたので、この培った知識や体験をこれからの仕事に生かしていきたいです。



札幌支店

名前 木村 誠晋 (きむら せいしん)

生年月日 平成 7.1.7

血液型 A型

特技 テニス・短距離走

趣味 バイク・模型作り
ゲーム



自分の性格を一言で!

好・真面目

お酒は飲める?

チューハイも飲めません(笑)

でもブランドと濃い日本酒が好きです!

社員旅行で行きたいところは?

ヴェネツィア

これからの意気込みを

建築の知識や経験がなく、全てがゼロからのスタートだったので最初は建築用語や現場の雰囲気に慣れるのに必死でした。毎日が勉強で大変ですが、楽しい日々を過ごしていきます。一日でも早く戦力になれるよう頑張りますので、よろしくお願いたします。



見てわかる、断捨離



今回読んだ本は、クラター・コンサルタント やました ひでこさんが監修し、2017年に発行されたものです。断捨離とは心の執着を手放すためのヨガの行法哲学「断行・捨行・離行」から着想を得て、住まいと心の片付け術として、応用提唱したものです。

最初、断捨離という考え方が本としてまとめられ、出版されたのは2009年のことでした。断捨離という言葉がブームになって、日本で知らない人がいないくらい普通に使われるようになりました。日本国内だけではなく、アジア、ヨーロッパなどで翻訳され、世界的な広がりを見せています。

なぜこの本を読んだかということ、生活の中で物がどんどん増えてきて、片付けるのがとても大変で、片付ける時間も長かかって、とても無駄と感じたからです。この本を読んでもと、片付け方を色々習得できますし、さらに断捨離はただ捨てることではないと分かりました。自分にとって不要なものを断ち、それらを捨て、ものへの執着から離れることを目指します。自分にとって本当に必要なものを見つめ直すことが重要です。

断捨離の考え方で下記の5つをやれば、厳選されたものだけが残ります。

- 1、ものとして使えないゴミを処分
- 2、機能するけど使っていないガラクタを処分
- 3、なくても困らない不要なものを処分
- 4、自分に相応しくない不適なものを処分
- 5、最後は自分の感性で不快なものを取り除く

それで最低限のものだけで生活し、少ないもので豊かに暮らすことができます。

仕事の面では、整理整頓がとても大事なことだと思います。書類やデスクが綺麗に片付けられれば、自分自身が気持ちよく仕事に取り掛かることができ、仕事へのやる気も出てくるはずです。そして仕事の効率ももっとよくなります。

最後は断捨離を通して、ものを片付けるだけではなく、空間を整え、頭や心の中も整理しながら自分のベストな状態を見つめ直し、それから自分がどう生きていきたいかを考えるべきだと感じています。

札幌支店 蔡 爽

編集後記

先日、釧路でバナナが栽培されているというニュースを耳にしました。バナナというと南国で作られているイメージがありますが、夏でも涼しい気候である釧路で育てることにより、一般的なバナナよりも糖度が高いものが出来るそうです。一般的な常識やイメージというものとは簡単に覆せるものではないですが、常識の枠にとらわれずに新しいことに挑戦することは大切なことであると感じました。

